

## 50周年記念特別号

### 『東京いいで会』走り続けて半世紀！



ふるさとへの訛りなつかし停車場の  
人ごみの中にそのを聴きにゆく  
石川啄木『一握の砂』より

提供/飯豊町

### 会長就任あいさつ

東京飯豊会会長 山口 弘二 (中津川)



高橋前会長の後を継いで会長に就任させて頂きました。

東京飯豊会の皆様、飯豊町の皆様のご支援をよろしくお願ひ申し上げます。

昨今日本経済は縮小し、貧富の格差拡大、就職難など私たちの身近な社会問題になっています。

当会は飯豊町出身の皆様の心からの支えとなるような活動をして行きたいと考えております。

今年は東京飯豊会発足から50年になります。そこで50周年記念事業として、今総会へ小白川

神社あばれ獅子舞連50名を招聘、50周年記念総会を盛大にとり行います。

また、飯豊町へ桜の苗木30本を寄贈。

町の観光の拠点となる場所に植林を予定しております。

これにつきましては、会員の皆様に故郷に桜を飾る運動にご理解を戴き、御寄付を切にお願い申し上げます。

この会報「東京いいで会」は会員皆様間の情報の橋渡し、会の活動報告、ふるさと飯豊町の情報等を載せています。皆様の積極的な投稿を戴ければ幸いです。

# ふるさと だより From飯豊町

## 飯豊町バイオマス製造施設



中津川にあるバイオマス製造施設

中津川財産区の森林面積は約一〇、〇〇〇ヘクタール。財産区としては、全国一の広さを誇ります。しかし、近年は、林業の衰退などで、山の荒廃が懸念されてきました。また、地球規模では、二酸化炭素排出による地球温暖化が問題となっています。この二つの大きな課題の対策として、平成二十一年十一月二十四日、中津川地区に「飯豊町バイオマス製造施設」が完成しました。

バイオマスとは、「再生可能な生物由来の有機物質（化石燃料を除く）」を指す言葉で、木屑、家畜の糞尿、下水の汚泥などが挙げられます。そのうち飯豊町バイオマス製造施設では、ナラやブナといった中津川財産区の豊富な森林資源を活用するものです。山から切り出された木材を施設で木質ペレットに加工し、町内外の各家庭にストーブ燃料として供給します。



木質ペレットストーブ

施設の運営を担うのは、地元住民が立ち上げた中津川バイオマス株式会社（鈴木良則代表取締役）。木質ペレットは年間四〇〇ト、おが粉は三〇〇ト。このような経済活動が、雇用を創出して地域が活性化されると共に、森林に人が入ることで荒廃の抑制にもつながると期待されます。さらに木質ペレットの燃焼による二酸化炭素の排出は、木の成長過程で再吸収されるとされ、地球温暖化を防止する再生可能なクリーンエネルギーに位置づけられています。

飯豊町バイオマス製造施設は「里山再生」などの地域の大きな期待を背負

い稼動しました。

## 飯豊町福祉事業所「でんでん」

平成二十二年四月一日、飯豊町福祉事業所「でんでん」が開所しました。障がい者への福祉サービスを提供する町内で初めての施設です。

「でんでん」の名は、町の合唱組曲『ラブリィ・ホームタウン〜ふるさとに捧げる六つの賛歌〜』の歌詞と、祭りばやしののぎわい、そしてあのかたツムリの歌のようにたくましく伸びていく願いなどが込められています。

施設の指定管理者は、特定非営利活動法人すぎな。長井市森に「福祉センターすぎな」を開所し、障がい者の生活介護や就労継続支援活動を行っている民間組織



福祉事業所「でんでん」

じて就職に必要な知識や技術の習得を目指します。



技能訓練に使う「さをり織り機」

町では、施設内に「さをり織り機」二台を導入。さをり織りとは、決まりごとの一切ない、自由な自己表現を目的とした織物です。障がいを持つ方の技能訓練の一つとして、全国の福祉施設で注目を浴びています。

また利用者は、収入確保と社会に必要な知識と能力を身に付けることを目的に、町の健康福祉センター内の一部の清掃業務も担います。今後のでんでんの運営は、町内に障がい者の就労支援の場をどれだけ広げ、地域社会とかわっていきけるかが課題となります。

「障がい者の能力を伸ばすには、様々な分野で社会参加する機会を提供することが大切だと思います。彼らが町で生活していくためには、何が必要か、町民の皆さんも一緒になって考えてもらいたいです」と、でんでんの鈴木英次施設長は話します。

## 東京飯豊会創立五十年に寄せて

飯豊町長 後藤幸平



このたび東京飯豊会が50周年の記念の年を迎えられました。昭和35年に設立されてから半世紀の歳月を重ねたこととなります。まことにおめでとうございます。

いまでは朝一番の新幹線に乗れば、9時過ぎには東京駅に立つことができます。昔は朝発って夕

方に上野駅に着くか、夜行列車なら夜の10時ごろ赤湯駅から乗り込み明け方の5時ごろに上野に着くというありさまで、東京は本当に遠く「東京に行く」ことはまさに「男子志を立て郷関を出ず」の感があったと思います。

現在の大都市の繁栄は、一大決心をして地方各地から集まった皆さんのご努力によって達成されました。一方、ふるさと飯豊も近代化の歩を進め、かやぶきと障子戸、いろりに火を焚く生活から「ガス水道とあげ流し」の台所になるなど、すっかり変貌したように見えます。しかし、美しい山並みや清らかな川の流れ、土と草の匂い、ふるさとを守る人々の気持ちはまったく変わらないままなのです。「田園の息吹が暮らしを豊かにするまち」を合言葉に、むらの「にぎわい再現」をめざしてがんばっています。どうぞご期待ください。

結びに東京飯豊会のますますのご隆昌を心からお祈り申し上げます。

## 東京飯豊会創立五十年に寄せて

飯豊町議会議長 菅野 富士雄



本年、東京飯豊会が創立五十年を迎えるにあたり、議会を代表してお祝いの言葉を述べさせていただきます。

冒頭に、毎年総会の折、ご招待をいただいておりますことに、紙面をお借りいたしまして、お礼を申し上げます。

五十年という長きにわたり、継続、発展できましたのも、会員の皆様のご努力はもとより、創立当時から脈々と受け継がれた役員の方々の結束の賜物とご推察申し上げます。総会の折にお聞きしたお話や、広報誌の投稿を拝見しますと、故郷を後にし、見知らぬ土地で人生を切り開き、ご家庭を築かれ根づき、日本の繁栄に多大なご貢献をいただいたことに、改めて敬意を表するものです。

全国的とはいえ、町の人口も減り続け、集落の機能も麻痺し始めておりますが、農村を日本の原風景として、後世に残すのも議会の仕事と思っております。

「都農(とのう)不二(ふじ)」という言葉があります。都会と農村は別々のものではなく、一つとなり共存することだそうです。民主党政権では地域主権が提唱されております。都市と農村・消費者と生産者という対立構図ではなく、相互理解のもとに国づくりが行なわれるものと信じております。このような時、飯豊会の存在は田舎に住む私達にとって力強く、頼もしく、末永い良好な関係をお願いするものであります。

最後に、皆様の益々にご健勝とご多幸、重ねて東京飯豊会の更なるご発展をご祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

## 『東京飯豊会創立50周年に寄せて』

山形県議会議員 小池克敏



東京飯豊会が誕生して50周年の大きな節目の年を迎えられ、誠におめでとうございます。と同時に、半世紀にわたり連綿として飯豊会が継続されたことは、会長さんをはじめ、会の運営に携わられてきた方々の並々ならぬ努力があったればこそであり、改めて心からの敬意と感謝を申し上げます。さて、室生犀星の『ふるさと

は遠きにありて・・・』に始まる詩がありますが、飯豊会が創設された50年前は東京まで12時間余りを要した、文字どおり遠い異郷の地でありました。“同郷のよしみ”が集い、故郷を語り、励

まし合う機会を提供してくれる飯豊会に寄せる皆さんの思いが大きいと感じたのは、町の特産品を持込、あるいは獅子舞など郷土芸能を演ずる方々と連れ立って総会に出席したおり、皆さんが目には涙して感動しておられました。その姿に思わず一緒に涙腺を緩ませ感動を共にしたことが、つい昨日のように思い出されます。今、皆さんのふるさと飯豊町は、県下でも“元気な町”として評価いただいております。飯豊会も、この度の50周年を契機に一層飛躍されますことと、会員の皆さんも“ふるとは近きにありて・・・”となりましたが、故郷との絆を寄り強くされ、60・70周年をご壮健にて迎えられることをご祈念申し上げ、心からのお祝いといたします。

## 東京飯豊会創立五十年に寄せて 飯豊町観光協会会長 鈴木忠好



ふるさと飯豊を離れ、東京の地で活躍される皆様の親睦の場として、また、心のよりどころとして歴代の会長様をはじめ役員の皆様、会員の皆様のご努力により活発な活動を継続され、会が大きくご発展なされたことに敬意を表しますとともに、東京飯豊会創立50周年を迎えましたことに心よりお祝いを申し上げます。

さて、飯豊町観光協会は、趣旨に賛同いただける町内の会員の方々に支えられ、豊かな自然、温

かな人情をはじめとした「飯豊町の魅力」を広く知って貰い、多くの方に飯豊町を訪れていただくことにより、観光をとおした産業の振興、まちづくりに努めておりますが、まだまだ力不足ですのでぜひ東京飯豊会の会員の皆様にもお力添えをいただき、飯豊町の観光大使として周りの方々に四季折々の「飯豊町の魅力」をお知らせいただくことをお願いしたいと存じます。

最後になりますが、東京飯豊会が今後ますますご発展なされることをご祈念し、お祝いのごあいさついたします。

## 東京飯豊会五十周年の歩み 副会長 國分秀高(萩生)



東京飯豊会の歩みを振り返ると長い歴史を感じ、会を興された舟山繁太郎顧問の足跡の偉大さに頭が下がります。

故郷を想う仲間が集う大きな輪の広がり、東京飯豊会の今日の盛り上がり、原点的な原点でした。しかし、五十年の歳月には大変なご苦労があった事と思われませんが、歴代の会長はじめ役員の方々のボランティア活動のお蔭で支えられました。年一回の総会に向けて日々の活動、町との交流等さまざまな事が思い出されます。今では会員数も増え、世代を越えて若い方の参加も増えて居ります。恒例のつきたての餅の振舞い(近年納豆餅でなく残念)イベントも色々企画され、特に節目の年には特別な企画で町の踊り、萩生の中ノ目八幡神社、

椿の涌沼神社等の参加が有りました。その時には町から大勢の参加で主催準備は大変な思いをしましたが、出席の方々は故郷を思い出し、小さい時の笛、太鼓の音がドンドンと心に響き獅子舞いの振り方はとても感動でした。今年も五十周年で祭りの再現が有り楽しみで胸がワクワクです。やはり幼少の頃の祭りの思い出が一番の楽しみであり、あの感動は何時までも心に残る1ページです。これからも町との交流を深めながら東京飯豊会が長く存続され、益々の発展を願って居ります。そして多くの会員が参加され、共に話の輪が広がり故郷の言葉に愛着を感じ、田舎に帰省したような感覚で話せてホットする場所が何時までも続く事を願って居ります。東京飯豊会が又、大きく成長していくのを見守って行きたいと思いません。

## 50周年記念によせて



昭和39年に中津川(下屋地)を離れ、米沢を皮切りに木材を業として山形県内を転々としながら、平成2年より現在の南陽市宮内に落ち着きました。歳を重ねる毎に生まれ育った故郷に未練が募り、平成9年に第三の県民の森として中津川地区に「源流の森」が開設されたのを機に、その案内人として関わって居りましたが、3年前の平成19年に心を同じくする同志とNPO法人「美しいやまがた森林活動支援センター」を立ち上げました。故郷に「企業の森」の誘致による森の造成などのお手伝いをしながら、森と人を繋ぐ活動に楽しく取り組んで居ります。此の度は飯豊町役場より廃校となっていた小屋分校をお借りし、森と人との交流の場とすべく色々な方に声をかけ、活

## 織田洋典(中津川・南陽市在住)

動を展開しております。中津川には多くの草木塔が散在し、その密度は全国にも例がなく、先人の森に対する畏敬の念の強さを表す特筆すべきものと思われま。これを中心テーマに据えた集いを、全国の大学などに声掛けし森林講座として開いてみたいと思ひ、現在分校の修繕工事を行っている所です。東京飯豊会の皆さんにも是非ご利用頂き、共に活動の輪に入って頂ければ有り難い次第です。行き止りの中津川も来年には岳谷集落からブド一沢を越えて福島県に通じる大規模林道が開通するとの事ですから更に多くの人々と交流も出来るものと喜んで居ります。故郷、飯豊町には日本一の田園散居集落の風景、全国一の規模を有する森林財産区、豊富な農林畜産物などの沢山の宝があり、それらが生かされてこそ町の発展に繋がるものと信じます。

# 東京飯豊会 50年間のあゆみ

飯豊中学校  
新築記念品贈呈 趣意書

陽春の候、皆様方には益々御健勝にて御活躍のこととお喜び申し上げます。さて、皆様方既に御承知の通り、私たちの郷里は、旧三ヶ村を合併して飯豊村と改称されてより早や五年になりましたが、更に昨年、中津川村をも加えて飯豊町へと昇格し、益々発展の一途を辿っております。これに伴い、従来旧三ヶ村に分散しておりました各中学校も発展的解消をとげ、新たに統合校舎として飯豊町立飯豊中学校が樺駅近くに創設されました。新校舎は、恵まれた環境と近代的な設備をもった学校として、県下でも屈指のものとして各方面から注目されているもので、郷土の文化史を飾るにまことにふさわしいものと云われております。

ふるがえつて現代の社会生活の動向をみますと、目覚ましい科学技術の進歩や、巨大なマスコミの影響は、従来ややもすると偏隔されがちであった都市と地方の文化の断層を急速に埋め合わせようとさえしているようでありませぬ。

このようなとき私たちが痛感することは、郷土の発展をなす子供たちが、この新しい息吹きに対応しながら健やかに学校生活を過ごさないと云うこととあります。このことにおもいをいたすとき、新校舎の創設を記念して、私たちの想い出多い郷里の子供たちに、教育上の重要教材といわれる教育テレビを寄贈できたらという声が高まっております。時あたかも、親王様の御誕生という御慶事もあつて、二重の記念ともなることと思ひ、左記により皆様方の御賛同と御協力を得たくお願い申し上げます。

記

- 一 寄附 要 領  
(1) 寄附目標総額 七 万 円 (但し十七インチテレビ一台分)  
(2) 期 限 昭和三十五年五月末日

(3) 寄附金は発起人において参上拝受いたすべくところ御手数とは存じますが、事務所又は左記発起人の下に御送金下さるよう勝手乍らお願い申し上げます。

発起人

事務所 東京都文京区大塚坂下町一五九番地  
舟 山 繁 太 郎 方

- |                                    |  |
|------------------------------------|--|
| 新宿区諏訪町二三一番地<br>高峯 出 身 中 川 佐 助      | 北区稲付西町四ノ一四番地<br>松原 出 身 田 制 久 平             |
| 大田区仲蒲田一ノ二五番地<br>高峯 出 身 井 上 養 蔵     | 杉並区方南町一五〇番地<br>黒沢 出 身 井 上 富 栄              |
| 板橋区志村前野町一〇六六番地<br>高峯 出 身 箕 輪 寅 次 郎 | 横浜市港北区篠原町<br>篠原公団住宅一の二十一号<br>樺 出 身 伊 藤 藤 斌 |
| 文京区大塚坂下町一五九番地<br>小白川 出 身 舟 山 繁 太 郎 | 世田谷区若林町九二番地<br>萩生 出 身 樋 口 勝 雄              |
| 板橋区向原町一三一二番地<br>小白川 出 身 横 山 茂      | 中野区大和町一六二番地<br>中村 出 身 渡 部 正 之              |
| 新宿区富久町六〇番地<br>手ノ子 出 身 奥 山 栄 七      |  |
- (順不同)

この趣意書が『東京飯豊会』誕生の出発点となりました

提供/舟山繁太郎

ご連絡

当会の創立にご尽力されました最高顧問・舟山繁太郎さんが2月16日逝去されました。享年97才。故人のご功績を偲び、謹んで哀悼の意を表します。



## 東京飯豊会 50周年を祝して

## 最高顧問 舟山繁太郎

雄大な飯豊山を眺め、最上川の源流白川の清流に潤われ緑豊かな恵まれた環境で生まれ育った私達。

首都圏に出て生活する郷友の親睦会、東京飯豊会が誕生してめでたく50年記念総会を迎えますことは、誠に喜ばしく存じます。

旧豊原・豊川・添川各村の統合した中学校建設を記念して、樋口勝雄氏、舟山繁太郎氏が中心となり、当時の学校建設員横山栄吉先生や役場企画係芳賀喜重氏等と連絡をとりながらテレビを寄贈の為の活動を展開し77,300円の寄付が寄せられ昭和35年9月1日飯豊中学校落成記念式典でテレビ1台を贈呈しました。これを期に、飯豊町出身者の「ふるさとを大切にす」気持ちが高まり、贈呈発起人が中心と成り飯豊会結成の準備に取り掛かりました。

その後、飯豊町出身者親睦会(昭和36年1月)飯豊会発起人会(昭和37年5月大塚)を重ね、昭和37年10月14日に池袋において「東京飯豊会」が誕生しました。

昭和46年、町、農協、竹田婦人部長、菊池青年部長らによる「もちつき」大会を開催しました。評判良く以後10年間継続実施し、総会時の「もち」は一番の御馳走になり現在も続いています。このように故郷遙かにして競争、激甚なる都会で働く同郷の私達こそ、兄弟にも優れる愛情を持ってお互い相寄り助け合い、楽しい人生を送ることができると信じ、これから更に郷土愛を胸に故郷飯豊町と融和・協調し共に永遠の発展を願い、お祝いいたします。

(過去の寄稿文より広報部で、纏めさせて戴きました)

# 東京飯豊会50年間のあゆみ



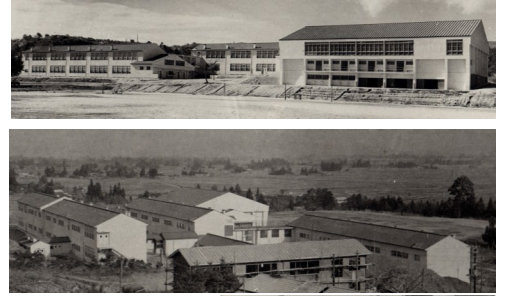
昭和37年(1962)

初代根本義五郎会長



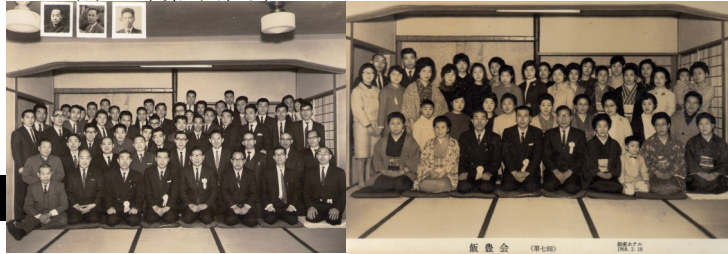
昭和41年第5回総会

昭和三十五年旧校舍完成



昭和40年(1965)

第2代井上養蔵会長



昭和43年第7回総会銀座ホテル



昭和38年豪雪  
米坂線28日間運休



昭和43年(1968)

第3代宇津木孝助会長



昭和44年第8回総会



昭和45年第9回総会

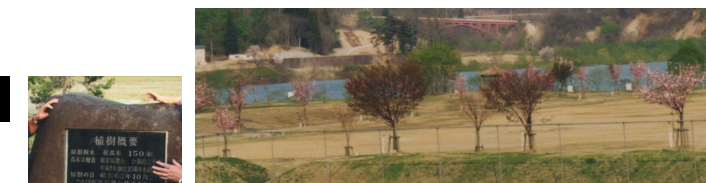


昭和39年スクールバス開始



昭和51年(1976)

第4代中川佐助会長



昭和63年10月桜植樹



昭和54年役場椿へ新築移転



昭和56年(1981)

第5代荒木昌一会長



平成7年桜植樹碑完成



平成4年9月伊豆旅行



昭和63年町制施行30周年記念



平成9年(1997)

第6代小笠原辰男会長



平成4年飯豊中現校舎完成

平成10年9月房総旅行

校歌  
作詞 完戸一郎  
作曲 海鋒義美  
田園はるか そのほかに  
四方の名山 のぞみなる  
名もかくわしき 飯豊中  
町と伸びゆく 学びやに  
かがやく瞳 眉あげて  
希望の天地 めざすもの  
ああ 若わしに光あれ  
信愛ふかき 師と弟と  
心身共に たくましく  
智徳みがきて 日に進む  
結びも固き 学びやに  
自治の校風 むつましく  
ゆるがぬ伝統 築くもの  
ああ 若わしに光あれ  
三  
白川清け うるおして  
みのり豊けき 故里の  
風さわやかな 丘の上  
思い出つるも 学びやに  
かわらぬ友情 胸にひめ  
郷土をに 光あれ  
ああ 若わしに光あれ



平成12年(2000)

第7代木村 武会長



平成14年9月最高顧問・舟山繁太郎卒寿祝い

# 東京飯豊会 50年間のあゆみ



第8代谷本亮司会長

平成15年(2003)



平成15年3月 会報・東京いいで会創刊



平成8年5月 故郷訪問バスツアー



平成18年(2006)



第9代高橋正孝会長



平成19年6月 故郷訪問バスツアー



平成20年9月 修学旅行中の飯豊中学生との交流会



黒べこ祭りに参加



さくらんぼ狩り体験



少人数に分かれての意見交換会



第10代山口弘二会長

平成22年(2010)

平成19年9月いいでFUNCLUB設立  
高橋 前・飯豊会会長・副会長に就任



新体制での50周年記念事業・検討開始



平成23年(2011)



## 会長退任ごあいさつ

去る7月11日の役員会において会長職退任を了承されました。

2期4年余にわたりふるさと会発展の為、非力な私に対し役員及び会員みなさまのご協力を戴き無事この日を迎える事が出来ました。

深く感謝申し上げます。

歴代町長はじめ、町各分野の皆様のお力添えに対しあらためて御礼申し上げます。

1960年代より今日まで紆余曲折を経た故郷会での50年余の歳月、多くの人々との交わり、一期一会には感慨深い想いがあり私の人生に多くの彩りを戴きました。

## 顧問 高橋正孝

故郷を離れる人々がある限りふるさと会は存在します。

今日の社会現象、世情を直視すれば、人と人、地域社会の結び付きは意識的強化を要請されている時代であります。

新会長の山口弘二氏は各種のボランティアでワールドワイドに活躍されておられ、東京飯豊会の発展実現の為に大いに力量を発揮される事でしょう。

役員及び会員皆様におかれましては新会長のもと、東京飯豊会隆盛発展を願い、多大なるご協力、ご尽力下さいます様お願い申し上げます。

## 東京飯豊会との出会い

## 手塚久雄（萩生）



Over the half century 20年程前アメリカ駐在で50歳を迎え、「よくぞ半世紀を生き抜いた」とオフィスの米人仲間から派手な誕生日祝いパーティーをやった。東京飯豊会も50周年（半世紀）を迎えその歴史の重さに感動をおぼえます。飯豊会との出会いは平成5年海外駐在から帰任、上京中の母と川崎に住む妹から誘われ総会に参加、故荒木会長から強引に役員に任命され事務方としてのお手伝いが始まりでした。その頃の事務方は人海作戦的で苦労も多かった、パソコンの経験を生かし、事務省力化の基礎作りに少しはお役に立てたと自負している、一方で平成15年飯豊町の中津川山村留学を私の住む桶川市に紹介、翌年から短長期にわたり子供たちが貴重な体験をしております、これを機に桶川



市と地域交流が始まり、毎年秋に市で開催される「全国ふるさと祭り」には飯豊町からも特産品持参で参加、特に大きな芋煮鍋が人気です。又昨年の秋、桶川市制40周年記念式典に飯豊町から後藤町長、管野議長が招かれ挨拶されました。余談ですが私たち絵画クラブも桶川市の芸術文化に貢献したとの事で感謝状を頂きました。定年後は念願だった絵に没頭！絵三昧の日々にちよっぴり感謝、東京飯豊会40・45周年に未筆ですが油彩の絵を町に寄贈、町民ホール「あーす」に展示されてます。この様な活動が会の事業に少しお役に立てたということで平成19年度の総会で感謝状を頂き大変恐縮しました。長い歴史と伝統に育まれた東京飯豊会、出会いに感謝し、これからも先輩の意志をしっかりと受け継いで守って行きたいと思う。



## 古稀を迎え

## 横山忠雄（手の子）



手の子担当の横山です。地区会員の皆様には何時もご協力有難う御座います。東京飯豊会も50周年を迎えますが、ひとえに会員の皆様のご協力とご理解の賜物と深く感謝しております。私事ですが、御蔭さまで昨年元気に古稀を迎えました。飯豊会には20年以上のお手伝いをさせて頂き、役員の中では高年齢に成って参りま

した。世代交代については常に考えて居る所ですが、どなたか役員を受けて下さる方が居られたら有り難いと思います。手の子地区だけの悩みでしょうか？ 何時に成ったら解決できる事でしょう。後継者が出来るまで山口会長、他の役員と共に頑張っけて前進していきたいと思っけて居ります。

## えがったなあ～ 同級会

## 新野 孝司（添川）



私たちは第1回飯豊中学校卒業生（昭和34年3月卒）であったが統合校舎で学ぶことなく、東部地区（添川・松原）で成育し、学んだ53人の仲間であった。卒業以来51年振りの再会に期待を込めて参加した。10月24日福島県奥飯坂温泉で小学校で担任目黒先生、中学校で担任土屋先生をお迎えし、18名の同級生と共に旧交を暖めた。最初は幹事用意の名簿と集合写真と見比べながらの確かめ合ひでありました。ほどなくモザイクのような記憶が結びつき、一挙に昔に戻って、訛りを交えての話、笑顔、笑いの連続であった。故郷・先生・同級生とは根っこで繋がっているんだとの思いを新たにしました。

宴席では恩師より明晰に当時の学校・生徒の有様、修学旅行での思い出等のお話と併せ生徒の成長（立派な大人になったもんだ）を喜んで頂きました。乾杯は大浦君（赤湯で大浦ワイン醸造・社長）の差し入れ「ヌーボーのロゼワイン」でした。うまがったごと。おしょうしなあ～。ええ同級生持ったもんだの声。宴の進むなか、各人から今までこと、今のことの紹介があり、今更ながら感嘆と頷きを交わしたものでした。お風呂に浸かり尽きることなき会話で癒しの一晩、それぞれに名残惜しく、今回来られなかった人にも声をかけての再会を約しました。



## 新役員のあいさつ

## 渡部 隆(黒沢)



飯豊会の会員皆様におかれましては、日々ご活躍されるとともにご健勝でお過ごしのことと拝察いたします。

平成22年3月に開催されました総会後に新役員として選出され、役員会にて承認されました渡部隆（黒沢地区出身）です。

私は、戦後の第一ベビーブームに誕生した世代で40歳台頃から飯豊会に参加させて頂き、懇親会等では先輩・後輩の隔たりもなくまた、面識のない方でも同郷であると言うだけで故郷での思いで話が飛び交い、気さくに会話ができたものです。解散後は同級生との二次会等で懇

談し、一日が楽しく過ごすことが出来たものがあります。

最近では若年者の会員及び総会への参加者が年々減少しているように見受けられ、特に私の出身地区である黒沢地区が減少傾向に思われます。今年、飯豊会発足50年を迎える年でもあり、この機会を境に参加者が増加するようなアイデアと検討を役員一同が行っておられ、私も一員として頑張っていきたいと思っております。今後は、役員の皆様方からご指導を仰ぎながら微力ではありますが飯豊会を盛上げる為努力する所存でありますので宜しくお願い申し上げます。

## 故郷を想う

## 志田幸次(椿)



今回の里帰りは11月6日、飯豊中学校(昭和36年卒)の同級会が「いいで旅館」で3年ぶりに開催、旧友との再会が目的。集結したのは、北は小樽市から西は富山市までの30名。

会を重ねる毎に参加人員が少なくなってきたのが少々気になりますが、飲むお酒の量と時間は熟年パワーを発揮し、若き時代と変わることがなかったようです。当時は、中学校は統合され新しい校舎であったが体育館は建設中、2年の2学期時に豊原中から引越し、始業式は廊下で行ったことを記憶しています。

翌日は、完成したばかりの長井ダムを見学。ダム上流に架けられた竜神大橋から見た菅野ダムは水没寸前、展望した山々の頂は冬化粧、木の葉は赤・黄に染められ、美しい紅葉の風景を見ることができました。どんでん平らのゆり園に戻り、展望台から見た風景も格別、すばらしい集落の姿を見ました。また、キノコ取りも体験しモタシ等の収穫があり、次回は展望台でキャンプし、芋煮会でもやりたいな〜との声が上がりました。

これまで、所用を済ませ、忙しく親戚回りをするのが日課でしたが、これからは、余裕をもって帰り、町内の隅々まで足を伸ばし良き故郷を探索することにしたいと想いました。

## 心に残る思い出の地

## 鈴木 梅子(中)



小学生の頃の遠足、長井の戸田公園に桜(久保の桜)見学。

桜の美しさは勿論ですが見物の人々の賑やかさに驚きました。

お弁当の中身は学校での弁当とは違い、小麦粉を入れた淡い黄色の大きな卵焼きで又ビックリでした。

あれから数十年が過ぎた春に郷里の知人から素晴らしい短歌の書いてあるお便りが届き、そこにも「長井の桜」が詠まれてました。

私の大切な宝物と成っています。

中学一年生では各地区からの新しい大勢の友達が出来ましたが、それもととも大昔の事と成ってしまいました。

「大平」初めて聞く地名で菽生十文字から随分遠い場所とか(現在も地名が有るかどうか?)。そこに「紫の綺麗なアケビ」が沢山なる山が有ると聞き、同級生のちえちゃん、勝子ちゃんに「貴

女もアケビを手にしたら嬉しくなるはず」と誘われました。

数週間後の約束した日までワクワク、ソワソワ、ルンルン気分です授業もうわの空。

待ちに待った当日は晴天に恵まれ、遠い大平までの往復、くたくたに成りながらも、受けた感動は今もハッキリ覚えています。

アケビの美しさと美味しさを忘れられずに、毎年秋口にはデパートを探し回り高価であっても買い求めてしまう始末です。

故郷は遠くに成りて叶わず、近くでの購入と成ってしまいました。

現在は同級生との多摩川河川敷での「いも煮会」に参加し昔話に花を咲かせて頂いています。



## 哀悼の辞 8代目会長 谷本亮司氏ご逝去

顧問 高橋 正孝



2010年4月27日に告別式が取り行われました。

「先日の役員会は親戚での催しものと重なった、今回は必ず参加したい」と電話でお声を聞いた数日後のこと、その訃報は余りにも突然でした。お通夜、お葬式と2日間にわたり東京飯豊会の関係者多数の参列に対し、また会員の皆様にどんなにか慕われて居られた様子にご遺族様から驚きと感謝のお言葉を頂いた事、ご報告いたします。ご遺族の皆様にはあらためて哀悼の意を申し上げます。

若き日より東京飯豊会に参加、事実上のライフ

ワークとされ、常に故郷と町出身者に絶える事のない愛情を注がれ、永年役員として献身的な活躍、ボランティア精神を発揮されました。

特に会長職時代は45周年記念イベントとして出身地区の「涌沼神社の獅子舞い」招聘 実現に絶大な努力をして頂きました事は東京飯豊会会員に何時までも記憶される事でしょう。

あの柔和で温かなお人柄に接する機会は永遠に無くなり誠に残念です。

安らかなご冥福をお祈り申し上げます。

谷本氏のご遺志は東京飯豊会の持続的な発展であり、この至高な想いを会員様、役員みんんで守って参りましょう。



## 昔懐かしい場所

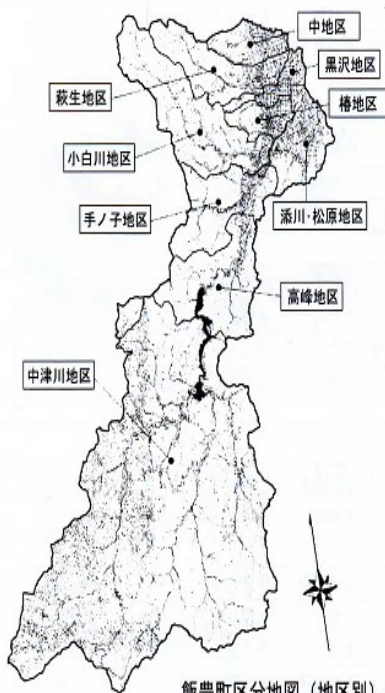
### \*中津川地区 伊藤 茂

現在、白川荘のテニスコートの東端が、生まれた家が有った所である。

隣が寺（正光院）で銀杏の木は、鎌倉鶴ヶ岡の銀杏より太かった事と思います。



部落の中心は八幡神社で初詣、秋の大祭と思えばたっぷり、社殿前の広場は子供達の遊び場だった。今では、ダム水没慰霊塔と本殿だけ、広場は白川荘と道路になった。ふるさとを離れて45年、懐かしく思い出されます。



飯豊町区分地図（地区別）。

### \*手の子地区 舟山 繁勝

手の子の落合部落で育ちました。小国に通じる国道113号線は昔は狭い山道でしたが、現在は立派に整備された新道に成りました。小学校高学年だったと思いますが同級生3人（女子2名と自分）で汽車の通らない時間の宇津峠の真っ暗なトンネルを抜けて山に「わらび」採りに行きました。今、思うと怖いもの知らずの冒険でしたが懐かしい思い出です。又、山菜採りに出かけた時、急な夕立に遭い丁度有った山小屋で雨宿りして止んだ後、道まで下りて通りすがりの車に乗せて貰って（今ならヒッチハイクと洒落込み？）助かった思い出です。



### \*黒沢地区 中根 友利子

私が生れ育った黒沢の大地町という所は雑貨屋さん、お酒屋さん、タバコ屋さん、自転車屋さん、せんべい屋さん、魚屋さんなどがあり、人や車の流れがありました。パンやお菓子を買いくよく行った店があり、くじ付きの駄菓子なども売っていたので、他の子どもたちも来ていました。

その店の隣りに大工さんの家があり、その間の道が、子どもたちの遊び場になっていました。お寺に続く道でしたので、入口に石の門があり、鬼ごっこで鬼になった人はその門によりかかりながら数をかぞえたりしました。



大工さんの「屋敷林」の杉の木の根もとに丸太が重ねて置いてあり、格好の遊び場でした。道幅も狭く、あまり自転車や車も通らなかったの

で思いつき遊べたように思います。大きい子から小さい子まで一緒になって、駆けっこ、かくれんぼ、鬼ごっこ、ビー玉、メンコ、陣取りなどいろんな遊びをしました。近所の人にとっては、さぞうるさ

かったことと思いますが、いつも何も言わず見守ってくれていました。楽しくワイワイ言いながら、日が暮れるまでよく遊びました。今は、その遊び場もなくなってしまいましたが、なつかしく思い出されます。

## 第49回東京飯豊会総会・懇親会盛大に挙行政

3月7日(日)日暮里「ホテル・ラングウッド」にて会員様始め200名余の参加と、山形県議会議員の小池様、飯豊町後藤町長、後藤副町長、菅野町議会議員、各町議会議員の皆様、町行政関係、JA山形おきたま飯豊支店代表、なかつがわ農家民宿組合長、各友好交流団体の東京川西会、関東致芳会、花回廊ようざんロードを作る会様をお招きして開催しました。第一部は高橋会長の挨拶に続き、会務報告、会計報告、会計監査と議事を進め、来賓の御挨拶には後藤町長よりめざましい町の発展の状況と当総会へのご祝辞を賜りました。第二部は菅野町議会議員の町特産“どぶろく”での乾杯で幕あき。つづいて小池県議会議員よりご祝辞、伊藤中津川農家民宿組合長から今後の取り組みの説明有りました。

ほろ酔い気分の中でメインイベント「民謡ショー」“民謡は心のふるさと、歌と踊りでお国めぐり”の開演です。オープニングは「真室川音頭」全員で歌と手拍子の参加。懐かしい民謡の数々、やすき節(どじょうすくい)の滑稽な踊りに大喝采の内にラストとなり、フィナーレの「花笠音頭」では町長始め大勢の飛び入りの花笠踊りで大盛り上がり。いよいよお楽しみ抽選会! 当選の方“おめでとうございま〜す” 残念な方“来年に期待してくださ〜い” 悲喜こもごもの内に全員で「ふるさと」の大合唱。町から小関さん、当会から国分さんの万歳三唱で来年の再会を約束しお開きと成りました。「来年は50周年だから又、ござっておごえな〜」でのお見送りでした。(齋藤記)

# 祝才49回東京飯豊会総会



高橋会長挨拶



後藤飯豊町長挨拶



島田会計・会計報告



伊藤・中津川農家民宿組合長挨拶



総会・受付風景



良い声です



町長賞・おめでとう!



友好団体・関東致芳会の皆さん



会費何ぼだべ



やす〜き〜



いや〜久しぶり!



舟山・最高顧問元気で〜す

あんこ甘まいがな?



わくわく、どきどき 抽選会



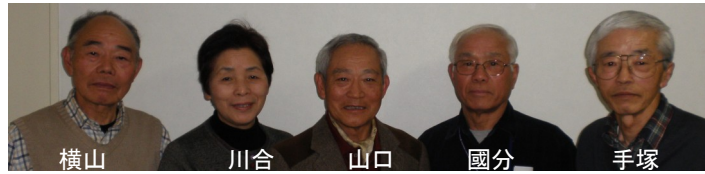
東京飯豊会・役員一同



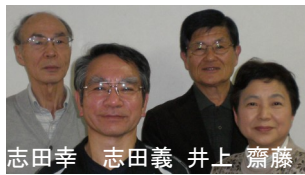
名残惜しいですが  
万歳三唱でお開きに!!!

# 東京飯豊会・役員 活動状況

役職	氏名	出身地
会長	山口 弘二	中津川
副会長	國分 秀高	萩 生
	横山 忠雄	手ノ子
	手塚 久雄	萩 生
	川合 かよ子	手ノ子
企画部・部長	新野 孝司	添 川
企画部	中村 美寿	添 川
	佐藤 包子	小白川
	土田 正一	椿
	伊藤 茂	中津川
幹事長	佐原 利博	小白川
副幹事長	宮城 慶吾	中津川
	織田 英昭	中津川
事務局長	志田 義雄	椿
事務局	井上 和雄	黒 沢
	齊藤ふみゑ	手ノ子
	志田 幸次	椿
広報部・部長	井上 和雄	黒 沢
広報部	齊藤ふみゑ	手ノ子
	深瀬 忠次	添 川
	伊藤 茂	中津川
会計部・部長	渡部 志郎	中
会計	島田 栄子	手ノ子
会計監査	今村ひろ子	高 峯
	手塚 敏浩	黒 沢
幹事	小川 悦男	椿
	鈴木 伊勢夫	小白川
	吉田 キヌヨ	高 峯
	山口美恵子	萩 生
	池田 さだ	小白川
	中澤 サタ	椿
	二瓶 孝徳	小白川
	渡部 隆	黒 沢
	川村 博	中
最高顧問	舟山 繁太郎	小白川
顧問	小笠原 辰男	添 川
	高橋 正孝	中津川
相談役	長沼 清	手ノ子
	樋口 昭二	萩 生
	佐藤 善治	黒 沢
	男鹿 善次	中津川
	八鍬 勝夫	高 峯
	浅野 慶吉	添 川



役員会風景



広報部・会報編集作業中



役員全員で総会案内発送作業！

袋詰め間違えなよ  
1000通だ！



会員の皆さん総会でお会いしましょう～！  
役員全員でおまちしてま～～～す！



役員会終了後の新年会風景



役員の方のお店(花笠)での2次会風景

# 平成22年度 年会費納入者御芳名 (敬称略)

2010/12/31現在

会員様257名の方々のご協力により、ここに東京いいで会報を発行する事が出来ました。有難う御座いました。

黒沢 14名	梅津勝美	梅津ミヨ子	蒲谷春夫	菅野由佳	小林秀	佐藤善吉	佐藤忠志	佐藤留喜
	島貫富栄	高橋雅子	中根友利子	原田洋子	平山くに	渡部隆		
小白川 17名	安部春次	石島サダ	上田隆	梅津要一	太田節子	小野幸一	片岡豊子	佐原芳弘
	平君代	高橋八郎	田辺俊彦	千葉マサヨ	二瓶武司	舟山茂文	舟山睦男	舟山吉次
	溝呂木清治							
添川・松原 27名	芦川裕子	安部正良	荒木ふじ子	伊藤憲子	上野文次	宇田京子	梅津勲	小関こう
	岡安弘子	勝見俊秀	金原ちゑ子	小松勇吉	斉藤勝	佐藤よね子	山水まさ	志田俊作
	志田尚作	島田四郎	庄子良子	鈴木孝男	高橋はま子	田中とし子	新野善行	二瓶文夫
	森博子	山口紘紀	米野清孝					
高峰 11名	伊藤正光	井上志げ	井上武雄	沖田みゑ子	川口茂雄	鈴木清子	高橋正弘	本間元
	矢部みを子	横山文男	和田清美					
椿 30名	青木典子	安部貞夫	伊藤順康	伊藤一敬	伊藤清一	伊藤薫男	伊藤正義	井上博司
	上原三男	大富博	岡文子	岡本輝子	片野英子	加藤文雄	加藤洋子	川嶋トシ子
	金田フサ	菅野栄三	後藤キミ	小林まち	佐藤ます子	清水ハル江	高橋叔子	高橋弘子
	中村幸子	新野豊明	堀江徹	松下信子	松山倉夫	松山清次		
手ノ子 20名	池田典子	今原幸子	大野シズエ	大場マサ子	奥山俊昭	奥山保弘	金森美恵子	小池喜美恵
	佐村孝作	佐山次夫	島田源三	鈴木貞次	鈴木三男	長沼克敏	舟山清成	舟山好一
	舟山繁勝	巻坂衛	横山ユウ子	渡部昭雄				
中 30名	青木勝美	青木道子	青木しげ子	朝倉重美	朝倉建	安達宮子	位下和子	臼井八重子
	川村博	菅野義徳	木村幸子	篠原五郎次	嶋貫勝利	島貫正十三	嶋貫浩	城戸かつこ
	鈴木梅子	鈴木昭作	高橋英子	田所昌子	長岡信司	長岡俊昭	新留静子	錦織明美
	野原致子	福島ミヨ子	峯田有一	村上栄一	若林敬一	渡部聡征		
中津川 22名	井上まち子	井上功	井上啓助	小川京子	奥田百合子	川崎通男	古藤光康	後藤昭輔
	後藤篤志	鴻巣邦夫	早乙女キヨ子	佐藤栄子	酒井博	鈴木政次	鈴木芳助	鈴木萬
	引地タミ	丸山光雄	山口達男	山口哲男	横山建司	渡辺常雄		
萩生 48名	浅間朝子	五十嵐ミヨ子	伊藤光荣	伊東武義	浮谷栄子	宇津木栄三郎	宇津木秀三	宇津木吉美
	梅津文蔵	海老沢真砂子	大家梅子	岡野芳子	小野寺瑠璃子	折原うめ	嘉藤秀一	嘉藤六郎
	菅利夫	菊地清	木村清	組谷信子	小島三代子	後藤敬信	後藤昭雄	後藤節子
	小林スイ	小松繁	坂田美江子	坂本喜美子	佐藤豊子	柴田かね子	嶋津和心	高橋勝治
	高橋茂夫	田口朋子	谷口秀子	手塚久良	手塚太	富永信子	中山淑子	那須キヨ子
	長谷部俊美	樋口勝男	樋口孝	廣瀬廣子	山田正子	渡部新吾	渡部とく	渡部博士
役員 38名	池田さだ	伊藤茂	伊藤長七	井上和雄	男鹿善次	小笠原辰男	小川悦男	織田英昭
	川合かよ子	國分秀高	小関恭雄	斉藤ふみゑ	佐藤善治	佐藤包子	佐原利博	志田幸次
	志田義雄	島田栄子	鈴木伊勢夫	須藤勝志	高橋正孝	谷本亮司	土田正一	手塚敏浩
	手塚久雄	中澤サタ	長沼清	中村美寿	新野孝司	二瓶孝徳	深瀬忠次	宮城慶吾
	八鍬勝夫	山口弘二	山口美恵子	横山忠雄	吉田キヨ	渡部志郎		

## 東京飯豊会・会則

- 第1条 名称 本会は東京飯豊会と称する。
- 第2条 会員資格 本会は山形県飯豊町出身者で、東京および東京近県内に居住する者で組織する。  
また、出身者の縁故者で希望するものは入会を許可する。
- 第3条 目的 本会は会員の親睦と郷里との交流等に関する事業を行い、これらを通じて互助共栄を図ることを目的とする。
- 第4条 会費 会員は会の維持費として、一家族当たり年間1500円の会費を納入するものとする。  
本会の運営費は会費、事業収入、寄付金及びその他の収入をもってこれに当てる。
- 第5条 役員 本会は下記の役員をおく。  
会長 1名 副会長 若干名 幹事長 1名 副幹事長 若干名  
広報部長 1名 事務局長 1名 企画部長 1名 会計部長 1名  
会計 若干名 会計監査 2名 幹事 若干名
- 第6条 役員選出 会長の選出は役員会が行い、その他の役員は会長が任命する。役員の任期は2年とし、再任を妨げない。  
役員は任期終了後でも後任者の就任までその任にあたるものとする。
- 第7条 役員の仕事
1. 会長は本会を代表して会務を総括する。副会長は会長を補佐する。
  2. 幹事長は会長の指示により役員会を召集し、会務を役員会に諮り、実務を具体化する。  
副幹事長は幹事長を補佐する。幹事は実務を担当する。
  3. 事務局長は立案された会務を幹事長と協力し、事務全般を行う。
  4. 広報部長は会報の発行、事業の広報に関する実務を総括する。
  5. 企画部長は事業を行うための企画を立案し、役員会に諮る。
  6. 会計部長は会費の徴収、予算の立案、事業費の収支等の実務を総括し、会計報告を役員会に報告し、決算報告を総会において行う。
  7. 会計監査は会計及び財務について監査し役員会及び総会に報告する。
- 第8条 特別役員 本会に最高顧問、顧問、相談役をおくことができる。  
最高顧問、顧問、相談役は役員会の議決を得て会長が委嘱する。
- 第9条 総会 本会の総会は年1回開き、会計、人事、事業等運営に関する事項を報告する。
- 第10条 会計年度 会計年度は1月1日～12月31日までとする。
- 第11条 会運営 本会の運営は会の目的遂行のための事案を、総て会長の招集する役員会にて協議し決定する。
- 第12条 七役会 本会の運営は七役会にて立案し、役員会において決定することができる。  
七役会は会長、副会長、幹事長、事務局長、広報部長、企画部長、会計部長にて構成する。
- 第13条 顕彰・慶弔 役員会は本会のために多大な貢献したと認められる会員、個人、団体を顕彰、見舞い、慶弔することが出来る。
- 第14条 禁止行為 本会組織を利用して宗教・政治・個人営利目的の活動を禁止する。  
また本会の目的、主旨に反する行為を禁止する。  
これに反する者は退会させることが出来る。
- 第15条 届出 会員はその住所、氏名を本会事務局に通知することを義務とする。  
その後の変更時は遅滞なく通知するものとする。
- 第16条 委任 会則に定めない事項及び運営上必要な事項は、別に定める。
- 第17条 規約改正 本会則の改正は役員会の議決を経て、これを決する。
- 第18条 事務所 本会の事務所は事務局長方に置く。

- 付 則
1. 本会は1年に1回会報を発行する
  2. 会則改定 平成21年1月1日

# 祝

## 東京飯豊会50周年



50周年おめでとうございます。  
皆様のご健康を祝し、未来に向けて  
ますますのご発展をお祈り致します。

### 株式会社国分石材

〒999-0602 山形県西置賜郡飯豊町萩生 4536-1

代表取締役 国分 剛

TEL0238-72-3738 Fax0238-72-3753

国分石材ホームページ <http://www.kokubunsekizai.com>

石屋のおっか (ブログ) <http://samidare.jp/148bun/>

TOYOTA 運営 ガズームラ Gazoomura 東北ブロック飯豊担当

<http://gazoo.com/mura/blog/MuraTop.aspx>

飯豊町情報満載! →

## 山形の名水 飯豊山 秘境の湧き水

### 只今、全国展開中



採水地:工場:中津川、小屋

国内産では貴重で珍しい  
サルフェート成分が含まれ  
デトックス効果が期待できる水  
カルシウムの含有量も国内トップクラス  
Ca 40.8mg/1000ml中  
サルフェート34.3mg

電話でのご注文承ります。

いいで源泉株式会社

山形県西置賜郡飯豊町大字中3397-1

電話0238-72-3190

<http://www.iide-gensen.com>

㈱ウマイヤ商店

電話0238-72-3110

500ml24本入り¥3,600を  
¥3,000(送料無料)

2L6本入り¥1,880を  
2箱で¥3,000(送料無料)

20L入りBOX¥2,625を  
¥2,500(送料無料)

お支払いは郵便振込みでお願いいたします。代金引換の場合は¥315の手数料を頂きます。  
価格は東京いいで会の会員様の特典です。ご注文の際は会員である事を申しつけ下さい。

# ぶどうの里の ワイナリー “大浦ぶどう酒”

山形県随一のぶどうの産地南陽で、1939年からワイン造りに励んでいる「大浦ぶどう酒」。代表銘柄の「山形ワイン」は赤、白、ロゼ3種類とも山形土産として人気があります。こだわりの本格樽熟成ワイン「バレルエージング」はワイン好きの方におすすすめ。ワイン蔵を改装した団体用のゲストホール（30名まで収容）も完備。南陽にお越しの際は、ぜひ大浦ぶどう酒の味をお楽しみ下さい。

山形ワイン(赤、白、ロゼ) 各1,071円  
バレルエージング(ブラン、ルージュ) 各3,266円



## 有限会社 大浦ぶどう酒

山形県南陽市赤湯312

TEL.0238-43-2056

http://www.yamagatawine.com

営業時間 ■ 9:00~18:00 無休(不定休あり)

※見学は要予約(無料)



JR赤湯駅下車徒歩15分、車で3分。国道113号線沿い

# ラーメン天狗山

噂の美味しさピリ辛みそラーメン

ラーメン溪流・ラーメン天狗山



(株)タックサプライフーズ

代表取締役社長 梅津要一



# めざみの里観光物産館



観 光 物 産 館  
MEZAMI

道の駅 いいで

山形県西置賜郡  
飯豊町大字松原

1898番地

TEL 0238-86-3939

FAX 0238-86-3030

いいで  
どんでん平ゆり園



開園時間

6/ 上旬 ~ 7/ 下旬  
9:00 ~ 17:00

入 場 料

開花状況により変動します。

幼 児 無 料

お問い合わせ

いいでどんでん平ゆり園

TEL 0238-78-5587

<http://www.dondendaira.com>



# いいで“Fun”Club ただ今、会員募集中!!

いいで“Fun”Clubには2コースがあります。詳しくは  
下記事務局までお問い合わせ下さい。

★ トクトク情報コース 年会費 1,000円

★ 特選旬の味覚コース 年会費 3,000円



お問い合わせ

いいで“Fun”Club事務局（飯豊町観光協会内）  
〒999-0604  
山形県西置賜郡飯豊町大字椿 1974-2  
Tel: 0238-86-2411 / Fax: 0238-86-2422  
mail: fun@iikanjini.com  
URL: <http://www.iikanjini.com/fun/>



総合燃料業  
株式会社 梅津商店



萩生本店  
☎023872-2155

ENEOS 椿店  
☎023872-3109

ENEOS 添川店  
☎023872-2622



がまの湯

山形県いで湯と味覚の宿

静かな山あいの中にたたずむがまの湯  
飯豊山、四季の美しさを奏でる中、  
心安らぐまごころの宿いで旅館  
湯・味・宴、それぞれの趣を存分に…




がま足の湯



山形がまの湯  
昔酒とぶるく!  
(期間限定11月~5月末)

山形県 いで湯と味覚の宿 東北のガマ がまの湯温泉

いいで旅館

〒999-0604 山形県西置賜郡飯豊町大字椿4494  
**TEL.0238-72-3706(代)**  
 FAX. 0238-72-3709  
 URL <http://www.gamanoyu.jp>  
 E-mail [info@gamanoyu.jp](mailto:info@gamanoyu.jp)

## 都会とふるさといいでとの交流 !!!

東京いいで会の50周年おめでとうございます。

都会と“ふるさと飯豊”のつながりを作る事を、一生の仕事として創出し、昔懐かしい50年前の遊びを再現し、子供や孫達と一緒に楽しめる場所を作りたいと思っています。

“ふるさと飯豊”を愛し続けた50年が、皆さまにとって【いいで愛】の年になります事を御祈念いたします。 感謝!!!

生きがいネットワーク 佐藤 昭一

電話(0238)72-2833 携帯(090)3125-4687 E-Mail [dreamline-aishyo@sepia.plala.or.jp](mailto:dreamline-aishyo@sepia.plala.or.jp)





生産者の顔が見える米

山形県西置賜郡飯豊町大字萩生三五八七

マルシチ米穀株式会社

TEL 0238-72-2016  
FAX 0238-72-2807

東京飯豊会第五十回総会開催、  
誠におめでとうござります。  
会員の皆様のご健勝とご多幸を  
心よりお祈り申し上げます。

「ふるさとの訛り懐かし停車場の  
なま  
人ごみの中にそれを聞きに行く」

## 関東よもぎだ会へのお誘い !!!

『山形県立置賜農業高等学校同窓会関東支部』  
母校の発展を祈りつつ故郷を懐かしみ  
同窓の絆を深める集いです。  
毎春、支部総会を開いております。  
ご興味のある方は下記事務局へご一報ください。

よもぎだ会関東支部 支部長 横山昭七(S27年卒)  
(小松出身)

事務局長 小川悦男(S35年卒)  
(飯豊出身)

連絡先 〒202-0003

西東京市北町5-4-3

TEL 090-3139-2210

Eメール [pd1941yyoshio@ybb.ne.jp](mailto:pd1941yyoshio@ybb.ne.jp)

# 「中津川」 四季折々の楽しみ

## 【新緑の景観】

4月中旬～5月中旬



## 【山菜】

5月下旬～6月



## 【川遊び・昆虫】

7月～8月



## 【紅葉景観】

10月中旬～11月上旬



## 【雪景色】

12月～2月



## 【どぶろく】

11月下旬～4月



## 白川温泉 白川荘

999-0424

山形県西置賜郡飯豊町数馬218-1

お電話 0238-77-2124

ファックス 0238-77-2125



999-0424

山形県西置賜郡飯豊町大字須郷421-1

お電話 0238-78-0010

ファックス 0238-78-0020

＜秘境温泉 神秘の湯＞

## 広河原間欠泉 湯の華



間欠泉の湯を浴びながら入れる炭酸ガス自噴の露天風呂はここだけ。  
飯豊町最南端、福島県境の飯豊連山と霊峰梅峰に挟まれぶなの、林に囲まれた谷あい自噴する間欠泉です。積雪期冬季休業します。  
営業期間・宿泊予約・その他は、お問い合わせ下さい。

所在地：飯豊町大字広河原字湯ノ沢 電話/FAX **0238-78-0045** 伊東直吉

アクセス\* 東北道山形蔵王ICより約2時間JR手ノ子駅より車で約1時間白川ダムの十四郷荘より南下し  
広河原地区へ、途中岐点を東沢方面へ曲がり7km

皆さんのふる里から

# 飯豊米

お届けいたします



お問い合わせは 添川の

**(有) 銀波**

代表 新野 純一

TEL **0238-74-2147**

FAX **0238-74-2031**

e-メール [ginnami@beige.plala.or.jp](mailto:ginnami@beige.plala.or.jp)

# 2010年山形から新しいお米がデビューしました



お米はここまで美味しくなれる。

山形から、日本の新品種。

飯豊産つや姫を是非お召上がり下さい。



山形おきたま農業協同組合飯豊支店  
山形県西置賜郡飯豊町大字萩生 528 番地  
TEL 0238-72-2121 FAX 0238-72-2010

あだまりの宿

みどりの中で健康づくりを。



露天風呂



宴会場



いいで 添川温泉

# しらさぎ荘

〒999-0605

山形県西置賜郡飯豊町大字添川3020-5

**電話 (0238)74-2161**

FAX (0238)74-2162

